



白金の丘

明治学院中学校・高等学校同窓会 白金会 会報誌

発行
白金会
編集
広報委員会

明治学院中学校・高等学校 同窓会からのご報告とお願ひ



明治学院中学校・高等学校同窓会
白金会 会長
高橋 敏 幸
(1968年卒)

同窓生の皆様！
2023年はいか
がお過ごしでした
か？

あれだけコロナで苦労しましたが、
2023年3月13日以降、本人の自
己判断でマスク着用がなくなつてから
は、まだ収束していない割にはそんな
にも騒がなくなりました。コロナワク
チンの副作用問題とか巷ではいろいろ
言われています。何が正しいのか分か
らないのが私の素直な意見です。ただ、
言えることはワクチン接種により免疫
機能の低下を感じています。あくま
でも私の私的な感じですが。

世界に目を向ければ、残念ながら
まだにウクライナの戦争は収まらず、
毎日、悲しい報道がなされています。
また、イスラエルでも戦争が始まりな
げこんなにも戦いが起こらなければな
らないのかと悲しい気持ちになります。
世界平和のために何かできることはな
いかと思いを巡らせますが、今はただ

平和になることだけをお祈りするばか
りです。

さて、明治学院高等学校に目を向け
れば、この原稿を書いているまさにい
ま、2024年3月11日に卒業式が行
われました。来賓として祝辞を述べさ
せていただきました。卒業生299名
は次のステップに夢と希望をもつて進
まれました。「ご卒業おめでとうござ
います。」4月から皆様は明治学院中
学校・高等学校同窓会（白金会）の一
員になられました。同窓会は皆様を心
から応援いたします。

卒業生には、①恒例のMGマーク入
りスプーン②本セット③チャペルをモ
チーフにしたクリアファイル③点セッ
ト④昨年からラインナップされたトー
トバックの3種類のものを卒業記念品
として贈呈いたしました。

昨年から差し上げているトートバッ
クは大変好評で生徒のみならず先生方
にも気に入って貰っています。当面は
この3点セットを卒業記念品として贈
呈したいと考えています。

(2024年4月6日。入学式が行わ
れ、315名の新入生を迎える予定だ
そうです。)

【白金会役員会】

白金会では3月13日からマスク着用
は本人の意思に任せる事にはなりまし
たが、執行役員会ではマスク着用での

会議といたしました。執行役員会は
2023年4月1日から2024年3
月31日までの間10回、臨時役員会は7
回開催しました。会議は毎回冒頭に、
前回の会議事項の確認を行い、その後、
前月の活動内容の見極めを行い、その
月以降の活動のチェックを行っていま
す。コロナ禍以降、役員の方々の仕事
の影響もあり開催日については毎月臨
機応変での開催とさせて頂いていただ
います。また、3か月に一回の学校側と
の打ち合わせに関しては校長先生が毎
回用意してくれるレジメに沿って報告
を受けております。

【年度役員会(総会)】

2024年1月27日午前11時から開
催致しました。今回は初めての試みで
同日開催された還暦祝い礼拝・卒50周
年記念礼拝とは時間をずらして行いま
した。これは、チャペルでの使用時間
の問題(結婚式と重なるため)からど
うしても午後一番で双方の開催が難し
く、それであれば、年度役員会は高等
学校会議室で開催し、午後の時間をず
らして還暦祝い・卒50周年記念礼拝を
チャペルで行うことに致しました。年
度役員会は11名の出席で、委任状は8
名の方から送られ、総数19名で年度役
員会は成立となりました。(白金会会
則第10条より年度役員会の成立には、
委任状を含め年度役員員の3分の1以上
の出席を必要とする。)

議案審議事項

- ① 2022年度事業報告及び収支報告
 - ② 監査報告
 - ③ 2023年度事業計画
 - ④ 2023年度予算
- 以上を審議し議案は承認されました

ことを報告致します。
【還暦祝い・卒50周年記念礼拝】
2024年1月27日午後14時から開
催致しました。

還暦祝い礼拝出席者13名(1982
年卒)、卒50周年記念礼拝出席者13名
(1973年卒)、一般出席者19名、
その他学校関係者など12名。計57名が
出席。

柏井師の司式で讃美歌121番「ま
ぶねのなかに」から始まり、聖書「マ
タイによる福音書5章43〜44節」から
説教が始まり出席者は神妙に聞き入っ
ていました。その後、高校食堂におい
て懇親会を開催し、有志は新校舎見学
をしました。

今回、嬉しいことにいまだ現役で仕
事に従事している95歳の先輩の参加で
す。また、今回も説教をお願いしまし
た柏井先輩と同期の90歳になる方と87
歳になる方の出席です。先輩方が今も
元気に活動していただき白金会に出席
していただけることはこの上ない喜び
です。90歳の先輩は、今でも銀座で月
1回食事会をしていらつしやるとの事。
4月の食事会には私もお伺いする予定
です。

人生100年とは言わず、「大還暦」
のお祝いができるまでどうかお元気に
お過ごしただけます様、また、元氣
にお会いできます様、我々一同大いに
楽しみにしています。

【高校生の活躍】

昨年は高校軟式野球部が東京大会で
優勝し全国大会にも出場、また、鹿児
島で行われた国体にも出場し、活躍さ
れました。同窓会でも応援し皆様から
の支援もいただき、有難く思いました。

この紙面で御礼申し上げます。また、アメリカンフットボール部の活躍もあり、高校生は頑張っています。今後とも、同窓生皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

【同窓生役員改選にあたり】

本来、本年度は役員改選時期にあたりますが、コロナ禍で年度役員会がともに改正できなかった事や2006年度からオール明学院同窓会が大学校友会傘下になった為、我々明治学院中学校・高等学校同窓会は同窓会本部から一時離脱し推移を見守っておりましたが、当初、オール明治学院同窓会が掲げていた校友会一本化構想が残念ながら実を結ぶことがなく、オール明治学院同窓会は4月1日から変わっていく模様です。また、その全貌は分からないこともあり、今後、明治学院中学校・高等学校同窓会はじっくり成り行きを見極め、今後の同窓会活動に生かしていきたいと考えています。当面は今の陣容で運営していくことが決まりましたのでご報告しておきます。

【白金会育英会構想】

明治学院高等学校に入学しても、入学後、それぞれ家庭の問題などがあり父子家庭、母子家庭になり、学業を続けていくことが困難になってしまおう子さんが各クラスに数名が出てしまうこともあるようです。そこで、まだ具体的な取り組みは決定しておりませんが、当同窓会としても何とか支援できないかと考えています。皆様方のご支援を仰ぐことになると思いますが、その節はぜひともご協力、お力添えをお願いしたいと思っておりますので宜しくお願いたします。

【会報誌未着者一覧について】

毎年会報誌に未着者一覧表を掲載しておりますが、あまり情報が頂けないうこともあり、今年度から掲載を止めることに致しました。

クラス会などで仲間同士で会報誌が届いているかなどを確認していただき、未着の方がいれば、メールなどでご連絡をいただけますようお願いいたします。

【今後の日程】

白金会執行役員会は毎月1回を定例会とし、必要あれば臨時の会議を行います。

年度役員会・総会は2025年1月に行う予定です。(まだ、学校と日程の調整が出来ておりません)その折、「還暦祝い礼拝・卒50周年記念礼拝」も同日に行う予定にしております。該当卒業年度は、還暦記念該当年度は1983卒、卒50周年記念該当年度は1974年度になります。該当年度の方には2024年11月ごろに別途お葉書でご連絡いたします。また、ホームページ上でも告知いたしますので宜しくお願いいたします。

「新校長との懇親会報告」

2024年1月、都内某所で「新校長先生との懇親会」を開催しました。徳永先生が校長に就任されたのは、2022年4月です。本来であれば時を待たずして開催したいところでしたが、当時はいわゆるコロナ禍だったため開催できずの状態が続いていました。2023年5月ようやく新型コロナウイルス

ウィルス感染症が2類相当から5類に移行したことにより、懇親会開催の検討が始められる状況になった次第でした。懇親会の話題の多くは、明治学院高校に在籍されていた数多くの名物先生についてでした。またこの令和の時代では考えられないような昭和の教育指導方法など、話題に事欠かない懇親会となりました。



後列左から、白金会荻原副会長、田浦先生、安田監事、畑副会長、平木監事、岸本役員、田中副会長
前列左から、柏井役員、小島職員、徳永校長先生、高橋会長、柿沼先生

【明治学院中学校・高等学校同窓会 (白金会) 収支計算書】

単位:円

収 入		支 出	
初年度会費	3,624,000	会報誌発行費	1,902,966
年会費	345,000	年度役員会・総会開催費	124,658
賛助金	254,000	委員会活動費	192,000
高等学校新校舎建設費	212,221	事務用品費	18,842
懇親会参加費	0	交際費	74,838
雑収入	13	通信費	196,991
		ホームページ作成費	55,000
		会員名簿整備費	710,545
		会員名簿製作費	436,392
		振込手数料	40,096
		在校生支援費	50,000
		卒業記念品費	1,927,200
		特別記念品費	92,400
		高等学校新校舎建設費	1,013,000
		工具機具備品費	99,640
		雑費	0
		予備費	0
小計	4,435,234	小計	6,934,568
前年度繰越金	4,925,792	次年度繰越金	2,426,458
総計	9,361,026	総計	9,361,026

(2022年4月1日～2023年3月31日)

白金会の連絡先について

白金会ホームページおよび連絡先は、左記の通りです。

URL

<https://mg-shirokane.com/>



白金会ホームページ QR コード

メールアドレス

info@mg-shirokane.com

「OB店舗訪問」

OB店舗&会社訪問【第一弾】として、1985年度卒業生の平田慎太郎様のお店で有楽町にある「金陵本店」を訪ね、インタビュ取材を行いました。

担任の先生は、1年次から小杉晃暢先生(体育)、萩坂心一先生(国語)、小林敏先生(社会)でした。実は中学時代はあまり勉強はしていませんでした。「受験科目だけ勉強すればいいや」という考えだったんです。ところが模擬試験などで私より成績が良くなかった友達や、都立の上位校にバンバン受かっているのを目の当たりにし、「内申点」の重要性を肌で感じ、高校ではまんべんなく勉強し、評価も5段階で最低4.0以上を維持するようにしていました。そのようなこともあり手前味噌ですが、勉強のことで特に怒られたこともなく、出来が良かった生徒だったと思います。三者面談などでも毎回5分もかからず先生からも「この調子で頑張ってください」とひとこと言われて終わる感じでした。また理科系の大学を目指していたので、萩坂先生の授業で古文の朗読などはつかえなかった時も、



1985年度卒業 H組の同窓会(2024年1月13日開催) 前列中央が平田慎太郎様

「君は理系だからまあいいよ。理系の勉強頑張った」と励まされたこともありました。私の年代は、丙午(ひのえうま)の翌年のため生徒数が多く、1学年8クラスありました。そのため地下の教室もホームルームにしてみました(当時は1学年6クラスが基準)。また2年次には米国のホームステイにも参加しました。



「ゆうらくご」コーディネーター林家はな平

「部活動は何をされてましたか?」部活動は剣道部でした。本当は子供のころから続けていた硬式テニスをやりたかったのですが、当時は軟式テニス部しかなく、剣道も子供のころ少しやっていたので、剣道部に入部しました。父親からは剣道の防具一式を買ってもらったときに「有段者になるまで剣道は続けなさい」と言われていたのですが、1年秋の昇段試験で初段、2年次には二段を獲得することができました。剣道は大学に入学した後も体育会剣道部に所属して続けました。通常は受験があるので高校3年の夏休みは合宿に参加しないのですが、3年生では私が一人だけが参加していました。また外部受験する生徒には受験のための補習授業が夏休みにあつたため、午前は白金で授業を受け、午後は東村山にある合宿所に戻り夕刻からは翌日午前の授業の予習をするという夏休みを送っていました。まあ先輩からしたら「3年生なのにまだ合宿に参加するの?」と迷惑な先輩だったかもしれせん(笑) ーそして大学受験、就職ですね。明治学院大学に推薦入学できる成績

は残していましたが、化学の勉強をしたかったので、外部受験で東京理科大学に進学しました。ただ化学の勉強をしたかったのですが、合格したのが数学科だけだったので数学科に入学したのですが、やはり悶々とした学生生活を送っていましたね。また「数学」と言うのも高校時代の「数学」とは桁外れの別世界で「これは数学ではなく哲学なのでは?」と感じたくらい奥が深いものでした。ちなみにですが、大学時代は神田淡路町にある法律事務所でアルバイトをしていました。その後は通学していたものの、やはり勉強しなかった化学が勉強できないということでモチベーションも下がり、結局東京理科大学を中退することにしました。その後しばらくは定職に就かずにはいました。ただ長いことぶらぶらしているわけにもいかず、子供のころから機械いじりや自転車が好きだったため、自転車屋さんで就職しました。そのような頃に、父が亡くなったのです。そこで父が経営していたお店を続けるため、現在のお店に就職しました。もちろん最初はいきなり経営者ではなく、一般社員として入社し修業を積みました。そして現在に至っています。飲食店の経営はある意味体力勝負なので、運動不足解消と体力つくりのため、片道14kmくらいの距離を1時間から1時間半くらいかけて、ほぼ毎日自転車通勤しています。自転車は大好きな乗り物なので、苦にはならないですね。今後、も体が続く限り、お店を続けていきたいと思っています。



居酒屋 金陵本店

有楽町ガード下、創業50年の居酒屋です。炭で焼き上げたジューシーな焼鳥と居心地の良い空間が自慢。昭和レトロ感あふれる、老舗ならではの手作りおつまみ&個性豊かなスタッフとのコミュニケーションもお楽しみください。営業時間は17時~22時45分。隔月第一土曜日のガード下寄席「ゆうらくご」も開催中。みなさまのご来店&ご予約お待ち申し上げます!(^^)!

最寄駅: JR有楽町駅銀座口 徒歩3分
地下鉄銀座駅C1出口 徒歩2分
地下鉄日比谷駅A4出口 徒歩2分

ご予約などのお問合せ ☎03-3503-4994



「野球部顧問インタビュー」

第68回全国高等学校軟式野球選手権大会東京都予選で優勝、全国大会ベスト4、そして国民体育大会3位の快挙、おめでとうございます。まず初めに阿部先生ご自身が、野球を始めたきっかけ、学生時代、教師(監督)に就任するまでの野球との関りについて、お伺いしたいと思います。

(阿部先生) 野球は小学校5年生から始めました。それ以前からやりたかったのですが、幼い頃から習わされていた剣道を消防士であった父から辞めさせてもらえず……。このままではいつまでもやらせてもらえないと思っていたので、あるとき勝手に少年野球のコーチに話をつけにいったのが始まりです。その後は地元の中、明治学院高校で軟式野球部に所属して野球を続けてきました。大学ではサークルで野球をしていました。高校時代、1学年上の先輩方が野球の技量が素晴らしいだけでなく、人としても魅力のある方が多くいらつしやり、充実した日々を過ごしました。今回選手権大会へ出場するにあたっては高校時代の先輩方や同級生たちからも多くの応援・支援をいただきありがたいと思っています。

野球部監督に就任されてからのこの度の快挙までの苦労話や思い出話をお聞かせください。
(阿部先生) 私が顧問になってからは常に部員数不足に悩まされています。野球がもはやメジャースポーツではないことを痛感しています。そうした中でも一生懸命に取り組む子どもたちを大事にしたいと思ってやってきました。

一番つらかったのはコロナ禍で春も夏も大会がなくなってしまう時でした。当時の3年生たちは現在大学生生活を送っていますが、普段から「最後まであきらめるな」と彼らに言うておきながら、その最後を用意できなかったことを今でも悔やんでいます。しかし、そんな彼らが今回の優勝を喜んでくれたり、全国大会会場の明石まで応援に来てくれたり、と救われたような気持ちになりました。優勝したこと以上に嬉しかったです。

最後に、今後の展望についてお聞かせいただければと思います。

(阿部先生) ご覧になった方にはわかっていただけだと思いますが、現在の明治学院の野球はひとつづつ目の前のことに向き合っていく野球です。派手さはありませんが、子どもたちがそこから何かを学んでくれればと思っています。そういう点で派手な明学の中では異質なのかもしれません。しかし、今回の全国大会出場でじつに多くの方たちから応援をいただき、取り組んできたことが間違いはなかったとも思いました。子どもたちだけでなく、私もひとつづつ目の前のことに向き合いながらこれからもやっていきたいと思っています。

最後になってしまいましたが、OB OGの皆さん個人からのご支援や白金会からも厚い支援をいただきました。感謝しても感謝しきれませんが、本当にありがとうございました。



「アメフト部顧問インタビュー」

第54回全国高等学校アメリカンフットボール選手権大会東京都地区3位、関東地区3位、全国大会ベスト8の快挙、おめでとうございます。まず初めに木村先生ご自身が、アメリカンフットボールを始めたきっかけ、学生時代、教師(監督)に就任するまでのアメフトカンフットボールとの関りについて、お伺いしたいと思います。

(木村先生) 幼い時から水泳、ソフトボール、サッカーに取り組み、中学ではバレーボール、高校では水泳一本に縛り、高校2年生時に熊本県大会で100m、200m背泳ぎで優勝し、国体出場を果たしました。しかし、3年生では水泳での限界を感じ、新しいスポーツにチャレンジしたいと思い、もともと団体スポーツ(球技)も得意だった為、大学から始めても通用しそうなアメフトをやるうと思いい日本体育大学に進学し、競技生活をスタートしました。大学2年生では関東で優勝し、大学日本一決定戦甲子園ボウルも経験させて頂き、4年生ではレギュラーも獲得し、アメフト一色の大学生活を送りました。明治学院高校に採用されてからは、アメフト部がなかった為、水泳部を5年、女子バスケット部を3年みましたが、白金グラウンド完成にともない、『今しかない!』



と思ひ、担任していた1年生を誘ひ、13名でアメフト部をスタートさせました。

「アメフトカンフットボール部監督に就任されてから、この度の快挙までの苦労話や思い出話をお聞かせください。」

(木村先生) とにかく何も知らない生徒にアメフトとは何かを教えることに苦労しました。しかし、この1期生達との2年間は私にとつて最高の宝物として今でも記憶に残っています。この1期生達が全国大会まであと一歩まで行けた事はまさに奇跡のような物語でした。その後も強い代は多々ありましたが、ベスト4という高い壁を越えられず19年が過ぎ、一昨年春季大会ではあります。関東大会出場を果たし、昨年秋季大会でベスト4入りし、全国大学出場を果たしました。特別な事をしたつもりはありませんが、この20年一貫して伝えてきた事は、与えられた環境でベストを尽くし、言い訳をしない、茶髪やピアスなど外見を着飾る事じやなく、内面を磨き、人間的に成長すること。一高校生として、アメフトだけじやなく、勉強、行事などにも本気で取り組む事。これまで言い続けてきた事が、結果に繋がって嬉しい限りです。

最後に、今後の展望についてお聞かせいただければと思います。

(木村先生) まずは、やはり高校アメフトの頂点であるクリスマスボウル(全国決勝)に出場したいという思いは変わらずあります。以前よりその思いは強くなりました。しかし、それよりもアメフトを通じて人間的に成長していく生徒を見ているのが最高の喜びでもあります。今回特に高校生の成長スピードの速さとその可能性は無量大だと強く感じました。アメフト部以外の明学

生にも外見を着飾ったりすることに、お金や時間を浪費することなく、もう少し高校生の今しか出来ない事に力を注いでもらいたいと強く思います。これからも私自身を生徒と一緒に成長していきたいと思っています。

ありがとうございます。今後の益々のご活躍を祈念いたします。



「明治學院と學友たち」

加藤 泰弘 (1953年卒)



私は卒寿(90歳)を迎えた高齢者ですが、人生を振り返りますと、終戦

直後に小学校を卒業(昭和22年、1947年)米国統治下での中学入学に際し、英語の必要性と地理的に通学に近い等もあり、明治學院を受験、大学卒業までの10年間お世話になり、また友人にも恵まれ大変感謝して居ります。大学時代は放送研究会に入り、アナウンス部に所属。その時の先輩の中にNHKアナウンサーになられた木島則夫様宅にも伺ったことがあります。

明治學院大学卒業後は、三井グループの三井精機工業株式会社入社、役員(常務)定年まで勤めたのち、子会社で滋賀県にありました東洋精器(現・サンテック)の責任者として5年、68歳で退任しました。その後は地元大田区に戻り、馬込地区の町会長として活動、88歳で高齢のため退任し、現在に至っております。

また学友との関係は、卒業後に毎月第二金曜日に銀座で会食、別の学友とは日黒で3水会(第3水曜日)に参加、友好を深めております。なお残念ながら故人となられた野球部の木々津君、博学の東田君、税理士の櫻井君は親しい交友関係でした。

現友人… 柏井 創君、森津幸一君、甲田忠君、今井孝雄君、岡田嘉己君、柳本茂君、清水敬介君、高品正敏君 略 歴…

1947年(昭和22年)明治學院中学入学
1957年(昭和32年)明治學院大学卒業
1957年(昭和32年)三菱精機工業入社
1997年(平成9年)常務取締役 (定年退任)
1997年(平成9年)東洋精器社長就任
2002年(平成14年)東洋精器社長退任
2022年(令和4年)平張町会長

(高橋会長の後日談) 4月12日金曜日加藤康弘さんを含む5人が午前11時半に銀座に集結。1953年明治學院高等学校卒の方々毎月第二金曜日に食事を開催しています。以前は20人以上も集まるMG銀座会でしたが、最近はそのままで集まることはなくなりました。この日は5人が集結。葉山からいらつした柳元茂さん、いつも白金会の説教をお願いしている柏井創さん。横浜からいらつした清水敬介さん、甲田忠さん。大田区にお住いの加藤泰弘さん。

皆さん元氣にお集まりになり、銀座で食事を開かれました。この会は、定期的に開催される前は加藤さんが出張先から東京に戻られたタイミングで月に1回程度食事を開いていたようですが、皆さんが定年を迎え自由な時間を持つようになった68歳くらいの時期を機に月1回第二金曜日に銀座で食事を定例会としたようです。それでもすでに20年以上毎月開催していることは凄いことです。

今度機会があれば一緒にさせて頂き同窓会情報をお伝えさせていただこうと思っています。

「卒業後の集まり」



柏井 創
(1953年卒)

1953年卒の卒業生は239名。その後、全員が揃うことはありませんでした。しかし久しぶりに大集合したのは、1989年6月、藤井信之介先生の退職を記念するパーティーで、85名が出席しました。以降2011年まで何回も同期会(1947年中学入学、1953年高校卒業)を開きました。この学年は小学校の経験ゼロ(入学時は国民学校となり、1947年から小学校に戻したため)です。同期に落語家の六代目柳亭燕路(黒田健之助、高卒ながら東大で講義を行ったことが新聞種になったことも)がいて、彼の独演会のたびに懇親会を開催しました。長く続いているのは毎月第二金曜日に銀座でランチを食べる「銀座会」と毎月第三水曜日夜に目黒で集まる「三水会」です。各々20名ほどのメンバーがいますが、年々一人欠け、二人亡くなり減る一方。それでもコロナ禍後も数名が頑張つて維持しております。



「明治学院と私」

田中 宏(1945年卒)

自分が明治学院中等部にお世話になったのは、1941年4月から1945年3月であり、この間の明治学院中等部の生活については、”150周年記念誌 明治学院とわたし”(2013年4月1日発行)に拙文を書いたことがあり、いま再び明治学院との関わり合いを書くことになったのである。

自分は1941年に兵庫県西宮市の小学校を卒業、ちょうどそのとき父が大阪支店より東京本社に転勤となり、その結果自分は東京の中学校に行かなければならなくなった、我が家では東



左より清水敬介さん、柏井創さん、加藤泰弘さん、甲田忠さん、柳元茂さん

京の中学事情をいうものが全く分からなかったが、母方の祖父が白金今里町に住んでおり、近くに明治学院中等部があることを知り、直ちに入学願書を提出し、幸い入学を許可されたのである。つまり明治学院と自分のかかわりは全くの偶然であった。

明治学院は全く穏やかな教育現場であり、優れた先生方のもとで勉学にそしむことができた。もともと自分は理科系の科目が好きで大学も理科系の学部を希望していたので、学校でも理系関係の先生方に関心を持った。例えば宮崎先生、西垣先生、あるいは矢作先生等のお名前はずぐに思い出される。

特に自分は西垣先生の化学の授業には関心を持ち、その影響を受けたかどうかわからぬが、その後は大学工学部応用化学化に進学、卒業後は特許庁に就職し、化学分野の特許審査や審判事件を扱うことになった。

(高橋会長の後日談)

2024年1月21日に還暦祝い礼拝・卒50周年記念礼拝を行いました。その折、出席なさっていた田中宏先輩に後日、白金の丘の原稿を依頼しました。

原稿の通りですが、後日談があり、補足すると1983年に特許庁を辞められました。その後、自動的に弁理士の資格を頂き、虎ノ門で開業しました。その後虎ノ門の再開発の影響で事務所を以前住んでいた田園調布に移転させ現在でも現役の弁理士として活躍しています。月曜日から金曜日までは朝9時から4時半くらいまで事務所仕事をしていきます。

募集 OB店舗&会社訪問募集

今号3ページのようなOBが運営する店舗/会社の紹介記事の掲載をご希望の方は、2ページに掲載のメールアドレスにお問い合わせください。



自宅のある大田区雪谷から田園調布までバスに乗って通勤しています。また、土曜日、日曜日は田園調布にあるテニスクラブに通い今でもテニスを楽しんでいます。健康の秘訣をお聞きしたところ、特にこれといった事はしていないとのことでしたが、食事にも気を付けることではないが、酒は飲まないし、たばこも吸わないのが健康の秘訣かもしれないといわれていました。お会いしてお話をお聞きして感じたことは、まったくお年を感じさせないほど、しっかりした聡明な印象を受け、ただただ驚かされたことでした。まだまだこれから元気に過ごしていただき、来年以降も白金会に出席いただければお待ちしております。

私の健康法 その10 思いつくままに(Ⅶ)



明治学院中学校・高等学校同窓会 (白金会) 幹事 平木 巖 (1962年卒)

今回も「思いつくままに」をⅦとして述べさせていただきます。今回は、色々な書物を読ませて頂いて、10名ほどの著名人の心に残る言葉を紹介させていただきます。明治の先達、後藤新平の言葉 人のお世話にならぬよう 人のお世話をするよう そしてむくいを求めぬよう

なんとさわやかな信條でしょうか。かかる信條を範に健やかに歩みたいものです。大実業家で、阪急電鉄や東宝、宝塚歌劇団などを起こした小林一三の言葉 金がないからできないという人は、金があってもできない。この言葉は「時間がないからできない」という人は、時間があってもできない」とも言い換えられます。実業家 渋沢栄一の言葉 何事に当たるにも全力を傾注せよ。勤勉精励は、成功の要素である。時代や国柄を超え、成功の秘訣はシンプルです。社会教育家 田中真澄の言葉 人間の能力は、知識、技術、そして心構えの三辺で表される。どんなに知識と技術があっても、心構えが悪ければ、能力は出てこない。すべては底辺

の心構えいかにある。さらに、よき心構えは積極性×明朗性で表される。消極性×陰気では何事もなしえない。近江聖人として親しまれた仲江藤樹の言葉

五事を正す(貌ぼう、言げん、視し、聴ちよう、思し) 貌(和やかな顔つきをする) 言(思いやりのある言葉を使う) 視(澄んだ目で物事を見る) 聴(耳を澄ませて人の話を聴く) 思(真心を込めて相手を感じる)

シンプルな言葉ですが、現代に生きる私たちにも大切な教えだと思えます。15歳でプロ棋士デビューを果たし日本将棋連盟会長の羽生善治の言葉 十年、二十年、三十年を同じ姿勢で、同じ情熱を傾けられることが才能だと思ふ。 京都大学第16代総長で脳神経解剖学の大家だった平澤興の言葉 朝には希望に起き、昼には努力精進に生き、夜には反省と感謝で眠る 本当に人生を楽しむのは八十歳からである。この歳になつてがつくりする人と、新しい人生に燃える人が出てくる。(年を取ることに素晴らしさを、実感を持つて語ってくれました。)

勉強を節約するな 実行できない予定は予定ではない (若い人に向けて説く言葉も深いです。) 努力とはわがままな自己との戦いになるが、この自己との戦いに勝つことなくしては、とうてい人の名にふさわしい、尊い人たることはできないであろう。さあ、ガンバロウ。

経営の達人松下幸之助の言葉 人間は若い時の心がけいかんによつて、ずいぶん差が出るものだ 百遍倒れたら百遍立ち上がれ。万策尽きたというな。策は必ずある。 人間、九割は自分ではどうにもならない運命のもとに生きている。その運命を呪つてはいけぬ。すると、運がよくなる。

人間は一人で大きくなったのではない。会社もまた一人で大きくなったのではない。慌ただしい日々の中にも、時に過去の歩みを振り返つて、世と人の多くの恵みに感謝する心をお互いに持ちたい。 上智大学名誉教授だった渡部昇一の言葉 元氣と愉快というのは、人生においてきわめて重要である。仕事はとにかく常に元氣で愉快にやる。 その気分が重要だということをわれわれは意識すべきだと思う。ジュリアス・シーザーの特色はいつも上機嫌だったことだそう。 百二十二歳まで生きた、フランス人女性ジャンヌ・カルマンの言葉 長寿の秘訣―二つあります。笑うこと。退屈しないこと。 作者不明の言葉 五十六十鼻たれ小僧 七十八十働き盛り 九十になつて迎えが来たら 百まで待てと追い返せ 感動・笑・夢

感動は人を変える。笑いは人を潤す。夢は人を豊かにする。 そして、感動し、笑い、夢を抱くことができるのは、人間だけである。